

座談会で出たまちづくりのキーワード

- 一、課題解決だけでなく、強みを伸ばすまちづくりの転換期！
- 二、ICTも官民連携も、ツールであり、これをいかにつまく使うかが、ポイント
- 三、さまざまなことが急速なスピードで変化している
- 四、やる気のある人が、「この指とまれ」で、総力をあげて取り組む



これらを取り込んだリーディングプロジェクトが
府中天満屋プロジェクト

府中天満屋コミュニティゾーンの
多目的スペースを使って



飲食のお店や講座を開いたり、何かチャレンジできる場としても開放する予定にしています。まさに、府中天満屋の成長プログラムを作っていきます。その成長プログラムには、色々な職種の人に関わっていただいで、多くの人に参画していただく中で、作り上げていく狙いもあります。また、2期整備部分では、大型スクリーンがあるとか、デジタルミュージアム、あるいは、ドローンを飛ばしてみたり、ICTを活用したアミューズメントの部分で、例えば、お店に置いてある、リアルな洋服だけで

なくて、色々な着替えが、デジタルで自由にできたり、さらに、いろんな町を歩くことも可能になってくるかもしれません。または、本の中で歴史のどこか、あるいは観光地のどこかを、バーチャルでその場にいるような世界感で、実際にそこへ訪れた体験もできるんじゃないか。ICTは、先ほど村田さんもおっしゃったように、あくまでも道具として、それを活用して、効率化と楽しさをどうやって、どこへつなげていくかというのを考えていくものだと思います。その考えでいくプロセス自体を皆さんと一

緒になって、楽しんでしまおうというのが、府中天満屋プロジェクトだと思っております。いよいよ今年7月には、第1期整備部分のオープンになります。ネウボラ、芝生広場、コワーキングスペースと、子育て世代だけでなく、仕事をする人、また、

今思っている「やりたい」を府中天満屋2階の施設を使って、実現してみませんか。「作品の展示場所がほしい」、「楽器の演奏をしたい」「ヨガの教室をしたい」など、あなたのやりたいことを実現できます。

あなたの「やりたい」が実現できます

- 例えば、
- ▷本物のものづくりを体験したい。
 - ▷映像編集をしたい。
 - ▷コワーキングで人とのつながりをつくりたい。
 - ▷ドローン体験がしたい。
 - ▷チャレンジショップをしたい。 など

村田

新しい手段や技術で、できることが広がったり、夢が出てきたり、「やってみよう」みたいな、新しい気づきがあって、また新たな学びが生まれてくる

先ほど野口社長の方から、モノ消費、コト消費というお話がありました。最近感じているのが、ひよっとしたら消費するという概念じゃないのかなっていうふうに思い始めています。一つの枠組みの中で、生活者というか、共に生きていくパートナーのような形として、モノを費やしてしまうのではなくて、共有している感じですか。時間なのか空間なのか、モノ、コト、場所を通じて得られるものも、共有していくのかもしれない

ん。スマートシティ構想を見てみると、生活のありとあらゆる場面、シーンにいろいろな方や企業がつながってくるなと思っています。これやはり民間企業1社ではできないですし、官民がいかに手を結ぶかがカギだと思います。ICTを活用することによって、これまで「見ることができなかった」「残すことができなかった」「得ることができなかった」ものが、これまでであったものに、加えて、重なって、実現することによって、私も提唱している豊かな社会につながっていくと思います。そういった大きな目的目標を、共有し実現するために、官民連携があるのだと思います。そこに日々進化しているICT技術を、道具として使うようになる。ICTはあくまで手段なので、新しい手段や技術を手に入れることによって、そういうワクワク感から、新しい気付きが生まれてくるのではないかと思います。連携と共創が

小野

人が人を呼び、何かチャレンジする人がいて、そこににぎわい・魅力が生まれていく府中天満屋の成長プログラム

循環型でまわっていく仕組みがあればいいですね。最近、価値共創という言葉が出てきました。事業者と消費者により価値を共に創るという意味ですね。そういった中で、新しい府中天満屋の価値共創は、もちろん天満屋ストアが一生懸命マネジメントされて、その中で市民も参画する中で、新しいライフスタイルだったり、新しい商品だったり、新しいサービスだったり、何かそんなものがある、みんな生まれてくると、うちの魅力がグンと上がっていく気がします。

府中天満屋コミュニティゾーンの

広場・通路を使って



府中天満屋コミュニティゾーンの

大型モニターを使って

あなたの「やりたい」が実現できます

- 例えば、
- ▷学校や部活動の発表の場にしたい。
 - ▷飲食の提供をしたい。
 - ▷絵本の読み聞かせをしたい。
 - ▷商品のPRをしたい。
 - ▷仲間とコンサートをしたい。
 - ▷作品を展示してもらいたい。 など

あなたの「やりたい」が実現できます

- 例えば、
- ▷自作した映像を流したい。
 - ▷5Gを活用したい。 など